

青空の下で元気に遊ぼう!

第29回こどもまつり開催

5月15日、益岡公園で恒例の「こどもまつり」が開催されました。

今年で29回目となる「こどもまつり」には、約500人の子どもたちが参加し、手作りの的当てゲームや障害物ゲーム、グランドゴルフやシャボン玉などのたくさんのコーナーで楽しみました。



また、会場となった益岡公園芝ふ広場には、ツツジやハナミズキなどのたくさんの花が咲き、子どもと一緒に参加したおとうさん、おかあさんたちも、花と新緑に囲まれた春の一日を満喫していました。

お年寄りに美しい歌声を披露

白石キューブジュニア合唱団移動発表会

白石福祉の里内の「ケアハウスやまぶき」で5月14日、白石キューブジュニア合唱団移動発表会が行われ、小学1年生から中学2年生までの団員15名が、「白石子守歌」など、美しい歌声を披露しました。この移動発表会は、これまでに不忘園や陽光園などで行っており、「ケアハウスやまぶき」での発表は、今回で2回目となります。

白石キューブジュニア合唱団は、昨年行われた市民オペラをはじめ、多くのコンサートに出演しており、現在、団員を募集しています。



野点と古典芸能で市民を魅了

白石城本丸内で「城の会」開催

今年開門10周年を迎える白石城の本丸内で5月15日、29回目となる「城の会」が開催されました。

時折雨が降るあいにくの天気の中、会場内に設置された特設舞台で琴や日本舞踊、詩吟などが次々に披露されたほか、抹茶席・煎茶席の野点も開かれました。



▲特設舞台で披露された日本舞踊

会場内には美しい琴の音色や詩吟の歌声が響きわたり、優雅な舞踊や風流な野点など、訪れた人は古典芸能の幽玄さを心ゆくまで堪能していました。

こけしの里「しろいし」をPR!!
こけしで印鑑をつくりました。

愛称は「めんこ印」

たくさんの皆さんにこけしの里「しろいし」をPRして、こけしに親んでもらおうと、こけしを使った印鑑がこのたび完成し、販売が開始されました。

『めんこ印』と名付けられたこの印鑑は2種類。いずれも消費税込みで、キーホルダー型印鑑（直径約1.2cm）が1,000円、机上型台付印鑑

（直径約1.35cm）が1,500円で、市商工観光課および東北本線白石駅構内の白石市観光案内所で受注販売いたします。

電話、白石市観光協会のホームページで注文を受け付け、約1週間でお届けいたします。

◎観光案内所 ☎26-2042

商工観光課 ☎22-1321



▲キーホルダー型印鑑



▲机上型台付印鑑

楽しみながら体づくり!

市民グランドゴルフ大会

5月28日、白石川緑地公園で第14回市民グランドゴルフ大会が開催されました。

ニュースポーツとして考案されたグランドゴルフは、幅広い年代の皆さんが気軽に楽しめるため、年々競技人口が増加しています。



今年の大会には、約100名の市民が出場し、団体の部で深谷南チームが優勝、準優勝の南蔵王グランドゴルフ愛好会チームとともに8月28日に大河原町で開催される大河原管内大会への出場権を獲得しました。

英語で楽しく過ごしませんか?

EIGOで話そうin壽丸屋敷

壽丸屋敷で5月28日、21回目となる「EIGOで話そうin壽丸屋敷」が開催されました。この催しは、気軽に英会話や国際交流を楽しんでもらおうと、ゲストに市の国際交流員などの外国人を迎えて、年数回開かれているものです。

参加者たちは、英語を使ったゲームなどで、時間を忘れて楽しく交流していました。次回、7月2日は市国際交流員のキャサリン・チェンさんの「さよならパーティー」(詳細は29頁参照)を予定しています。



▲英語で楽しくゲーム

森づくりでいい汗をかきました

不忘山で植林活動

福岡八宮字不忘山地内で6月12日、NPO法人「蔵王の水とブナを守る会」の主催で、失われた森を取り戻すための植林活動が行われました。

活動には、市内企業などや個人、あわせて約170名が参加し、ケヤマハンノキやブナ、コナラなどの苗木800本の植林を行いました。

なお、同会は6月6日、環境省より「地域環境美化功績団体」として、宮城県で唯一表彰されました。



▲1本1本丁寧に植林をする参加者たち

城下町をやさしいあかりで埋め尽くそう

白石和紙あかりプロジェクト

地域づくりに取り組んでいる市民グループ「蔵富人」の企画で、白石和紙を使って「あかり」を作り、町中を和紙のあかりで埋め尽くそうと、今年で3回目となる制作ワークショップが、5月から7月にかけて壽丸屋敷で開催されています。

5月21日・22日に開催された第1回のワークショップには、17名が参加。風船を型にして和紙を張り重ねた「はりこタイプ」や、籐の骨組みに和紙を張りあわせる「骨組みタイプ」など、思い思いにあかりを制作していました。

完成した「あかり」はどれも個性的で、参加者たちは和紙が作りだす幻想的でやさしいあかりに見とれていました。



▲真剣に製作に取り組む参加者

7月まで3回開催される制作ワークショップで製作されたあかりは、8月11日の夏まつりの夜に、壽丸屋敷で展示されますので、ぜひご覧ください。

この制作ワークショップは、7月9日(土)・10日(日)にも開催されます。詳しくは「募集」のコーナーに掲載しておりますので、興味のある方はぜひご参加ください。



▲完成した作品

過去の教訓を忘れずに!

6.12白石市総合防災訓練

6月12日、市では昭和53年に発生した宮城県沖地震および平成7年に発生した阪神淡路大震災を教訓に、白石第一小学校を主会場とした総合防災訓練を実施しました。

長町・巨理町・短ヶ町・本郷第四の各自治会から100名を超える皆さんが参加。阪神淡路大震災において被害の拡大防止に大きな影響をあたえた、地域の皆さんの救出・救助訓練を中心に実施しました。



▲地域の皆さんも参加して行われた救出救護訓練

日本の伝統文化を学びたい!

東北大学の留学生が能楽セミナー

6月12日、碧水園において東北大学の留学生の皆さんを対象に、能楽セミナーが開催されました。



16名の留学生の皆さんは、午後1時からの「ふれあい能楽セミナー」に参加。終了後、講師の小原地区ゆかりの小島英明さんのご厚意により、約1時間にわたり能楽についての説明を受けました。

参加した留学生は、能楽の歴史などについて熱心に質問し、日本の伝統文化を学んでいました。